

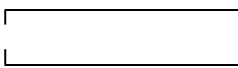
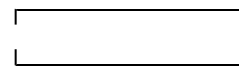
令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧：平成31年度)	改 定 (新：令和2年度)	コ メ ン ト																																																						
第2章 工事費の積算 2節 間接工事費 P2-2-5 番号1	<p>2-8-2 積算方法</p> <p>1) 率積算</p> <p>共通仮設費率に含まれる項目は、下記のとおりとする。</p> <p>(1) 品質管理基準に含まれる試験に要する費用</p> <p>(2) 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>(3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>(4) 工事完成図書類の作成に要する費用</p> <p>(5) 建設材料の品質記録保存に要する費用</p> <p>(6) コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用</p> <p>(7) コンクリート非破壊試験および単位水量試験に要する費用</p> <p>(8) 塗装膜厚施工管理に要する費用</p> <p>(9) 施工管理で使用するOA機器の費用</p>	<p>2-8-2 積算方法</p> <p>1) 率積算</p> <p>共通仮設費率に含まれる項目は、下記のとおりとする。</p> <p>(1) 品質管理基準に含まれる試験に要する費用</p> <p>(2) 出来形管理のための測量、図面作成、写真管理に要する費用</p> <p>(3) 工程管理のための資料の作成等に要する費用</p> <p>(4) 工事完成図書類の作成に要する費用</p> <p>(5) 建設材料の品質記録保存に要する費用</p> <p>(6) コンクリート中の塩化物総量規制に伴う試験に要する費用</p> <p>(7) コンクリート非破壊試験および単位水量試験に要する費用</p> <p>(8) 塗装膜厚施工管理に要する費用</p> <p>(9) 施工管理で使用するOA機器の費用</p> <p>(10) PC上部工、アンカー工等の緊張管理、グラウト配合試験等に要する費用</p> <p>(11) 建設発生土情報交換システム及び建設副産物情報交換システムの操作に要する費用</p>	土木基準との横並びをはかるため追記																																																						
第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 P3-1-24 番号2	<p>3-1-5 主作業船の規格区分と船団構成</p> <p>1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="332 865 1133 1171"> <thead> <tr> <th>グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分</th> <th>実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m³)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼D 2.5m³</td> <td>1.5 < ≤ 3.5</td> <td><u>アンカー式</u></td> </tr> <tr> <td>〃 5 〃</td> <td>3.5 < ≤ 7.0</td> <td><u>〃</u></td> </tr> <tr> <td>〃 9 〃</td> <td>7.0 < ≤ 11.5</td> <td><u>〃</u></td> </tr> <tr> <td>〃 15 〃</td> <td>11.5 < ≤ 18.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> <tr> <td>〃 23 〃</td> <td>18.0 < ≤ 26.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 30 〃</td> <td>26.5 < ≤ 31.0</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分	実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m ³)	摘 要	鋼D 2.5m ³	1.5 < ≤ 3.5	<u>アンカー式</u>	〃 5 〃	3.5 < ≤ 7.0	<u>〃</u>	〃 9 〃	7.0 < ≤ 11.5	<u>〃</u>	〃 15 〃	11.5 < ≤ 18.0	スパッド式	〃 23 〃	18.0 < ≤ 26.5	〃	〃 30 〃	26.5 < ≤ 31.0	〃	<p>3-1-5 主作業船の規格区分と船団構成</p> <p>1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="1543 865 2421 1171"> <thead> <tr> <th>グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分</th> <th>実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m³)</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼D 2.5m³</td> <td>1.5 < ≤ 3.5</td> <td>アンカー式 (削除)</td> </tr> <tr> <td>〃 5 〃</td> <td>3.5 < ≤ 7.0</td> <td>〃 (削除)</td> </tr> <tr> <td>〃 9 〃</td> <td>7.0 < ≤ 11.5</td> <td>〃 (削除)</td> </tr> <tr> <td>〃 15 〃</td> <td>11.5 < ≤ 18.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> <tr> <td>〃 23 〃</td> <td>18.0 < ≤ 26.5</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 30 〃</td> <td>26.5 < ≤ 31.0</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分	実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m ³)	摘 要	鋼D 2.5m ³	1.5 < ≤ 3.5	アンカー式 (削除)	〃 5 〃	3.5 < ≤ 7.0	〃 (削除)	〃 9 〃	7.0 < ≤ 11.5	〃 (削除)	〃 15 〃	11.5 < ≤ 18.0	スパッド式	〃 23 〃	18.0 < ≤ 26.5	〃	〃 30 〃	26.5 < ≤ 31.0	〃	アンカー式に限らずスパッド式も適用可能なため削除												
グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分	実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m ³)	摘 要																																																							
鋼D 2.5m ³	1.5 < ≤ 3.5	<u>アンカー式</u>																																																							
〃 5 〃	3.5 < ≤ 7.0	<u>〃</u>																																																							
〃 9 〃	7.0 < ≤ 11.5	<u>〃</u>																																																							
〃 15 〃	11.5 < ≤ 18.0	スパッド式																																																							
〃 23 〃	18.0 < ≤ 26.5	〃																																																							
〃 30 〃	26.5 < ≤ 31.0	〃																																																							
グラブ浚渫船 (普通地盤用) の規格区分	実装グラブ (普通地盤用) の範囲 (m ³)	摘 要																																																							
鋼D 2.5m ³	1.5 < ≤ 3.5	アンカー式 (削除)																																																							
〃 5 〃	3.5 < ≤ 7.0	〃 (削除)																																																							
〃 9 〃	7.0 < ≤ 11.5	〃 (削除)																																																							
〃 15 〃	11.5 < ≤ 18.0	スパッド式																																																							
〃 23 〃	18.0 < ≤ 26.5	〃																																																							
〃 30 〃	26.5 < ≤ 31.0	〃																																																							
第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 P3-1-30 番号3	<p>4-1-5 主作業船の規格区分と船団構成</p> <p>1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="412 1373 1323 1625"> <thead> <tr> <th rowspan="2">グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格</th> <th colspan="2">装備グラブ (m³)</th> <th rowspan="2">実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m³)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フ ラ イ 級 鋼D 3.5m³</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>2.5 < ≤ 4.5</td> <td><u>アンカー式</u></td> </tr> <tr> <td>ラ イ ト 級 〃 5.5 〃</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> <td>4.5 < ≤ 6.5</td> <td><u>〃</u></td> </tr> <tr> <td>ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃</td> <td>15.0</td> <td>7.5</td> <td>6.5 < ≤ 9.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> <tr> <td>スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃</td> <td>23.0</td> <td>11.5</td> <td>9.0 < ≤ 13.0</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格	装備グラブ (m ³)		実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m ³)	摘 要	普通地盤用	硬土盤用	フ ラ イ 級 鋼D 3.5m ³	5.0	3.5	2.5 < ≤ 4.5	<u>アンカー式</u>	ラ イ ト 級 〃 5.5 〃	9.0	5.5	4.5 < ≤ 6.5	<u>〃</u>	ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃	15.0	7.5	6.5 < ≤ 9.0	スパッド式	スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃	23.0	11.5	9.0 < ≤ 13.0	〃	<p>4-1-5 主作業船の規格区分と船団構成</p> <p>1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="1596 1373 2507 1625"> <thead> <tr> <th rowspan="2">グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格</th> <th colspan="2">装備グラブ (m³)</th> <th rowspan="2">実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m³)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フ ラ イ 級 鋼D 3.5m³</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>2.5 < ≤ 4.5</td> <td>アンカー式 (削除)</td> </tr> <tr> <td>ラ イ ト 級 〃 5.5 〃</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> <td>4.5 < ≤ 6.5</td> <td>〃 (削除)</td> </tr> <tr> <td>ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃</td> <td>15.0</td> <td>7.5</td> <td>6.5 < ≤ 9.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> <tr> <td>スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃</td> <td>23.0</td> <td>11.5</td> <td>9.0 < ≤ 13.0</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格	装備グラブ (m ³)		実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m ³)	摘 要	普通地盤用	硬土盤用	フ ラ イ 級 鋼D 3.5m ³	5.0	3.5	2.5 < ≤ 4.5	アンカー式 (削除)	ラ イ ト 級 〃 5.5 〃	9.0	5.5	4.5 < ≤ 6.5	〃 (削除)	ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃	15.0	7.5	6.5 < ≤ 9.0	スパッド式	スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃	23.0	11.5	9.0 < ≤ 13.0	〃	アンカー式に限らずスパッド式も適用可能なため削除
グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格	装備グラブ (m ³)		実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m ³)	摘 要																																																					
	普通地盤用	硬土盤用																																																							
フ ラ イ 級 鋼D 3.5m ³	5.0	3.5	2.5 < ≤ 4.5	<u>アンカー式</u>																																																					
ラ イ ト 級 〃 5.5 〃	9.0	5.5	4.5 < ≤ 6.5	<u>〃</u>																																																					
ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃	15.0	7.5	6.5 < ≤ 9.0	スパッド式																																																					
スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃	23.0	11.5	9.0 < ≤ 13.0	〃																																																					
グラブ浚渫船 (硬土盤用) 規格	装備グラブ (m ³)		実装グラブ (硬土盤用) の範囲 (m ³)	摘 要																																																					
	普通地盤用	硬土盤用																																																							
フ ラ イ 級 鋼D 3.5m ³	5.0	3.5	2.5 < ≤ 4.5	アンカー式 (削除)																																																					
ラ イ ト 級 〃 5.5 〃	9.0	5.5	4.5 < ≤ 6.5	〃 (削除)																																																					
ヘ ビ ー 級 〃 7.5 〃	15.0	7.5	6.5 < ≤ 9.0	スパッド式																																																					
スーパ-ヘビ-級 〃 11.5 〃	23.0	11.5	9.0 < ≤ 13.0	〃																																																					

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧：平成31年度）	改定（新：令和2年度）	コメント																																																										
第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 P3-1-36 番号4	<p>5-1-5 主作業船の規格区分と船団構成 1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">グラフ浚渫船（岩盤用）規格</th> <th colspan="3">主要装備</th> <th rowspan="3">実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m³）</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">装備グラフ（m³）</th> <th rowspan="2">砕岩棒 （t）</th> </tr> <tr> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フライ級 鋼D3.5m³</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>20</td> <td>2.5< ≤4.5</td> <td><u>アンカー式</u></td> </tr> <tr> <td>ライト級 // 5.5//</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> <td>30</td> <td>4.5< ≤6.5</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>ヘビー級 // 7.5//</td> <td>15.0</td> <td>7.5</td> <td>45</td> <td>6.5< ≤9.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラフ浚渫船（岩盤用）規格	主要装備			実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m ³ ）	摘 要	装備グラフ（m ³ ）		砕岩棒 （t）	普通地盤用	硬土盤用	フライ級 鋼D3.5m ³	5.0	3.5	20	2.5< ≤4.5	<u>アンカー式</u>	ライト級 // 5.5//	9.0	5.5	30	4.5< ≤6.5	//	ヘビー級 // 7.5//	15.0	7.5	45	6.5< ≤9.0	スパッド式	<p>5-1-5 主作業船の規格区分と船団構成 1) 主作業船の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">グラフ浚渫船（岩盤用）規格</th> <th colspan="3">主要装備</th> <th rowspan="3">実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m³）</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="2">装備グラフ（m³）</th> <th rowspan="2">砕岩棒 （t）</th> </tr> <tr> <th>普通地盤用</th> <th>硬土盤用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フライ級 鋼D3.5m³</td> <td>5.0</td> <td>3.5</td> <td>20</td> <td>2.5< ≤4.5</td> <td>アンカー式 (削除)</td> </tr> <tr> <td>ライト級 // 5.5//</td> <td>9.0</td> <td>5.5</td> <td>30</td> <td>4.5< ≤6.5</td> <td>// (削除)</td> </tr> <tr> <td>ヘビー級 // 7.5//</td> <td>15.0</td> <td>7.5</td> <td>45</td> <td>6.5< ≤9.0</td> <td>スパッド式</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) なお、アンカー式およびスパッド式については、現場条件により別途考慮することができる。</p>	グラフ浚渫船（岩盤用）規格	主要装備			実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m ³ ）	摘 要	装備グラフ（m ³ ）		砕岩棒 （t）	普通地盤用	硬土盤用	フライ級 鋼D3.5m ³	5.0	3.5	20	2.5< ≤4.5	アンカー式 (削除)	ライト級 // 5.5//	9.0	5.5	30	4.5< ≤6.5	// (削除)	ヘビー級 // 7.5//	15.0	7.5	45	6.5< ≤9.0	スパッド式	アンカー式に限らずスパッド式も適用可能なため削除
グラフ浚渫船（岩盤用）規格	主要装備			実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m ³ ）	摘 要																																																								
	装備グラフ（m ³ ）		砕岩棒 （t）																																																										
	普通地盤用	硬土盤用																																																											
フライ級 鋼D3.5m ³	5.0	3.5	20	2.5< ≤4.5	<u>アンカー式</u>																																																								
ライト級 // 5.5//	9.0	5.5	30	4.5< ≤6.5	//																																																								
ヘビー級 // 7.5//	15.0	7.5	45	6.5< ≤9.0	スパッド式																																																								
グラフ浚渫船（岩盤用）規格	主要装備			実装グラフ （硬土盤用） の範囲（m ³ ）	摘 要																																																								
	装備グラフ（m ³ ）		砕岩棒 （t）																																																										
	普通地盤用	硬土盤用																																																											
フライ級 鋼D3.5m ³	5.0	3.5	20	2.5< ≤4.5	アンカー式 (削除)																																																								
ライト級 // 5.5//	9.0	5.5	30	4.5< ≤6.5	// (削除)																																																								
ヘビー級 // 7.5//	15.0	7.5	45	6.5< ≤9.0	スパッド式																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 1節 浚渫・土捨工 P3-1-(15) 番号5	<p>1-4 作業船の規格区分と組合せ 1) 土運船の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土運船規格区分</th> <th>土運船の積載量範囲</th> <th><u>能力算定用基準積載容量</u></th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 100m³積</td> <td>≤160m³</td> <td>100m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 300m³積</td> <td>160< ≤450m³</td> <td>300m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土運船規格区分	土運船の積載量範囲	<u>能力算定用基準積載容量</u>	摘 要	鋼 100m ³ 積	≤160m ³	100m ³		鋼 300m ³ 積	160< ≤450m ³	300m ³		<p>1-4 作業船の規格区分と組合せ 1) 土運船の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>土運船規格区分</th> <th>土運船の積載量範囲</th> <th><u>公称泥艙容量</u></th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼 100m³積</td> <td>≤160m³</td> <td>100m³</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼 300m³積</td> <td>160< ≤450m³</td> <td>300m³</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	土運船規格区分	土運船の積載量範囲	<u>公称泥艙容量</u>	摘 要	鋼 100m ³ 積	≤160m ³	100m ³		鋼 300m ³ 積	160< ≤450m ³	300m ³		言葉の統一																																		
土運船規格区分	土運船の積載量範囲	<u>能力算定用基準積載容量</u>	摘 要																																																										
鋼 100m ³ 積	≤160m ³	100m ³																																																											
鋼 300m ³ 積	160< ≤450m ³	300m ³																																																											
土運船規格区分	土運船の積載量範囲	<u>公称泥艙容量</u>	摘 要																																																										
鋼 100m ³ 積	≤160m ³	100m ³																																																											
鋼 300m ³ 積	160< ≤450m ³	300m ³																																																											
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-35 番号6	<p>3-5-2 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・ケーソン形状 ・工法 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ケーソン天端面積 ・<u>標準市場単価（上蓋使用料）</u> ・標準市場単価（クレーン抜き） ・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 または貸与クレーンの規格 → 代価表の作成 → ・ケーソン据付用上蓋取付・取外1函当り代価表</p>	<p>3-5-2 代価表作成手順</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・ケーソン形状 ・工法 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は、別途積算</p> <p>↓</p> <p>・ケーソン天端面積 ・<u>上蓋使用料</u> ・標準市場単価（クレーン抜き） ・クレーンの機種・規格 「2-3-2」 または貸与クレーンの規格 → 代価表の作成 → ・ケーソン据付用上蓋取付・取外1函当り代価表</p>	標準市場単価からの除外による変更																																																										

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧:平成31年度)	改 定 (新:令和2年度)	コ メ ン ト																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-35 番号7	<p>3-5-4 施工歩掛 1) 代価表 (1) ケーソン据付用上蓋取付・取外 1函当り</p> <table border="1" data-bbox="388 401 1323 842"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形 状 寸 法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作用 台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸 上</th> <th rowspan="2">海 上</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用 台船方式 (DD)</th> <th>貸与 陸上クレーン</th> <th>貸与 海上 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 蓋 使 用 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>上 蓋 取 付 取 外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>函</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>//</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーンの規格は現場条件により決定する。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 上蓋使用料はケーソン天端面積を対象とする。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量			摘 要	ケーソン製作用 台船方式 (FD)	陸 上		海 上	ケーソン製作用 台船方式 (DD)	貸与 陸上クレーン	貸与 海上 クレーン	上 蓋 使 用 料		m ²				市場単価	上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函		1		//	<p>3-5-4 施工歩掛 1) 代価表 (1) ケーソン据付用上蓋取付・取外 1函当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 401 2531 842"> <thead> <tr> <th rowspan="3">名 称</th> <th rowspan="3">形 状 寸 法</th> <th rowspan="3">単 位</th> <th colspan="3">数 量</th> <th rowspan="3">摘 要</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン製作用 台船方式 (FD)</th> <th colspan="2">陸 上</th> <th rowspan="2">海 上</th> </tr> <tr> <th>ケーソン製作用 台船方式 (DD)</th> <th>貸与 陸上クレーン</th> <th>貸与 海上 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 蓋 使 用 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>見積もりによる</td> </tr> <tr> <td>上 蓋 取 付 取 外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>函</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーンの規格は現場条件により決定する。 2. 貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3. 上蓋使用料はケーソン天端面積を対象とする。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量			摘 要	ケーソン製作用 台船方式 (FD)	陸 上		海 上	ケーソン製作用 台船方式 (DD)	貸与 陸上クレーン	貸与 海上 クレーン	上 蓋 使 用 料		m ²				見積もりによる	上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函		1		市場単価	標準市場単価からの除外による変更
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量				摘 要																																																	
						ケーソン製作用 台船方式 (FD)	陸 上		海 上																																																		
		ケーソン製作用 台船方式 (DD)	貸与 陸上クレーン	貸与 海上 クレーン																																																							
上 蓋 使 用 料		m ²				市場単価																																																					
上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函		1		//																																																					
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量			摘 要																																																					
			ケーソン製作用 台船方式 (FD)	陸 上			海 上																																																				
				ケーソン製作用 台船方式 (DD)	貸与 陸上クレーン			貸与 海上 クレーン																																																			
上 蓋 使 用 料		m ²				見積もりによる																																																					
上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函		1		市場単価																																																					
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-40 番号8	<p>3-7-2 ケーソン仮置 3-7-2-1 代価表作成手順</p> <p style="text-align: center;">3-7-2-2</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">3-7-2-3</p> <p>・えい航距離 → えい航用引船の運転時間の選定 → ③えい航用引船の運転時間 ・えい航距離が17.4kmを超える場合は別途算定 (回航・えい航に計上)</p>	<p>3-7-2 ケーソン仮置 3-7-2-1 代価表作成手順</p> <p style="text-align: center;">3-7-2-2</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">3-7-2-3</p> <p>・えい航距離 → えい航用引船の運転時間の選定 → ③えい航用引船の運転時間 ・えい航距離が17.4kmを超える場合は回航・えい航にて別途計上</p>	分かりやすい文に変更																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-40 番号9	<p>3-7-2-3 施工歩掛 1) 作業能力 ケーソンえい航1函当り引船②、③の1日当りの運転時間は、下表による。</p> <table border="1" data-bbox="409 1556 1299 1661"> <thead> <tr> <th>えい航距離</th> <th>5.8kmまで</th> <th>11.6kmまで</th> <th>17.4kmまで</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 時 間 (h)</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ケーソンえい航距離が17.4kmを超える場合は、「本節 3-8 回航・えい航」によりケーソン回航・えい航費を別途積算する。</p>	えい航距離	5.8kmまで	11.6kmまで	17.4kmまで	摘 要	運 転 時 間 (h)	2	4	6		<p>3-7-2-3 施工歩掛 1) 作業能力 ケーソンえい航1函当り引船②、③の1日当りの運転時間は、下表による。</p> <table border="1" data-bbox="1596 1556 2487 1661"> <thead> <tr> <th>えい航距離</th> <th>5.8kmまで</th> <th>11.6kmまで</th> <th>17.4kmまで</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運 転 時 間 (h)</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) ケーソンえい航距離が17.4kmを超える場合は、「本節 3-8 回航・えい航」にて別途計上するものとし本項では計上しない。</p>	えい航距離	5.8kmまで	11.6kmまで	17.4kmまで	摘 要	運 転 時 間 (h)	2	4	6		分かりやすい文に変更																																				
えい航距離	5.8kmまで	11.6kmまで	17.4kmまで	摘 要																																																							
運 転 時 間 (h)	2	4	6																																																								
えい航距離	5.8kmまで	11.6kmまで	17.4kmまで	摘 要																																																							
運 転 時 間 (h)	2	4	6																																																								

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧:平成31年度)	改 定 (新:令和2年度)	コ メ ン ト																																																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 P3-4.1-41 番号10	2) 代価表 (1) ケーソン仮置 1 函当り <table border="1" data-bbox="320 380 1397 705"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="8">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>400t 未満</th> <th>400t ～ 1,000t 未満</th> <th>1,000t ～ 1,600t 未満</th> <th>1,600t ～ 2,000t 未満</th> <th>2,000t ～ 2,500t 未満</th> <th>2,500t ～ 3,500t 未満</th> <th>3,500t ～ 4,500t 未満</th> <th>4,500t ～ 5,500t 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起 重 機 船</td> <td>非航旋回 鋼D150t吊</td> <td>日</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>0.50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 ①</td> <td>鋼D 700PS型</td> <td>〃</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>0.50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 潮流等海象条件が悪い場合は、現地の状況を考慮し当該引船②の規格以下の引船③1隻を追加することができる。 2. ケーソンえい航距離が17.4kmを超える場合は、「本節 3-8 回航・えい航」によりケーソン回航・えい航費を別途積算する。 3. 現場条件により安全監視船を計上することができる(共通仮設費に計上する)。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量								摘 要	400t 未満	400t ～ 1,000t 未満	1,000t ～ 1,600t 未満	1,600t ～ 2,000t 未満	2,000t ～ 2,500t 未満	2,500t ～ 3,500t 未満	3,500t ～ 4,500t 未満	4,500t ～ 5,500t 未満	起 重 機 船	非航旋回 鋼D150t吊	日	0.33		0.50				1		運6H/就8H	引 船 ①	鋼D 700PS型	〃	0.33		0.50				1		運2H/就8H	2) 代価表 (1) ケーソン仮置 1 函当り <table border="1" data-bbox="1522 380 2599 705"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="8">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>400t 未満</th> <th>400t ～ 1,000t 未満</th> <th>1,000t ～ 1,600t 未満</th> <th>1,600t ～ 2,000t 未満</th> <th>2,000t ～ 2,500t 未満</th> <th>2,500t ～ 3,500t 未満</th> <th>3,500t ～ 4,500t 未満</th> <th>4,500t ～ 5,500t 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起 重 機 船</td> <td>非航旋回 鋼D150t吊</td> <td>日</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>0.50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>運6H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船 ①</td> <td>鋼D 700PS型</td> <td>〃</td> <td>0.33</td> <td></td> <td>0.50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 潮流等海象条件が悪い場合は、現地の状況を考慮し当該引船②の規格以下の引船③1隻を追加することができる。 2. 「本節 3-8 回航・えい航」によりケーソン回航・えい航費用を別途計上した場合は、引船②、③は計上しない。 3. 現場条件により安全監視船を計上することができる(共通仮設費に計上する)。</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量								摘 要	400t 未満	400t ～ 1,000t 未満	1,000t ～ 1,600t 未満	1,600t ～ 2,000t 未満	2,000t ～ 2,500t 未満	2,500t ～ 3,500t 未満	3,500t ～ 4,500t 未満	4,500t ～ 5,500t 未満	起 重 機 船	非航旋回 鋼D150t吊	日	0.33		0.50				1		運6H/就8H	引 船 ①	鋼D 700PS型	〃	0.33		0.50				1		運2H/就8H	分かりやすい文に変更
名 称	形状寸法				単 位	数 量								摘 要																																																																													
		400t 未満	400t ～ 1,000t 未満	1,000t ～ 1,600t 未満		1,600t ～ 2,000t 未満	2,000t ～ 2,500t 未満	2,500t ～ 3,500t 未満	3,500t ～ 4,500t 未満	4,500t ～ 5,500t 未満																																																																																	
起 重 機 船	非航旋回 鋼D150t吊	日	0.33		0.50				1		運6H/就8H																																																																																
引 船 ①	鋼D 700PS型	〃	0.33		0.50				1		運2H/就8H																																																																																
名 称	形状寸法	単 位	数 量								摘 要																																																																																
			400t 未満	400t ～ 1,000t 未満	1,000t ～ 1,600t 未満	1,600t ～ 2,000t 未満	2,000t ～ 2,500t 未満	2,500t ～ 3,500t 未満	3,500t ～ 4,500t 未満	4,500t ～ 5,500t 未満																																																																																	
起 重 機 船	非航旋回 鋼D150t吊	日	0.33		0.50				1		運6H/就8H																																																																																
引 船 ①	鋼D 700PS型	〃	0.33		0.50				1		運2H/就8H																																																																																
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 参考資料-4 上蓋(回航用上蓋取 付取外) P3-4.1-(10) 番号11	4. 施工歩掛 1) ケーソンえい航、回航上蓋使用料 $\text{上蓋使用料} = \frac{\text{製作単価 (円/m}^2\text{)} \times \text{ケーソン天端面積 (m}^2\text{)} \times \text{残存率 (0.9)} \times \text{維持修理費率 (1.35)}}{\text{転用回数 (1/10)}} \text{ (小数1位切捨て)}$	4. 施工歩掛 1) ケーソンえい航、回航上蓋使用料 上蓋使用料 = <u>見積もりによる</u>	標準市場単価からの除外による変更																																																																																								
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 補足資料-1 本土工(ケーソン式) P3-4.1-(14) 番号12	5. 大型フローティングドック (FD10,000t積) FD10,000t積の単価表、総トン数及び回航・えい航用引船の規格を示す。 1) 単価表 <table border="1" data-bbox="379 1314 937 1587"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>10,000 t 積</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 燃 料</td> <td>軽 油</td> <td></td> <td>187</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船 団 長</td> <td></td> <td>人</td> <td>1 × β</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高級船員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通船員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4 × β</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>供 用 日</td> <td></td> <td>α</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量		摘 要	10,000 t 積		主 燃 料	軽 油		187			船 団 長		人	1 × β			高級船員		〃	—			普通船員		〃	4 × β			損 料	供 用 日		α			5. 大型フローティングドック (FD10,000t積) FD10,000t積の単価表、総トン数及び回航・えい航用引船の規格を示す。 1) 単価表 <table border="1" data-bbox="1567 1314 2125 1587"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th colspan="2">数 量</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>10,000 t 積</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主 燃 料</td> <td>軽 油</td> <td></td> <td>255</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>船 団 長</td> <td></td> <td>人</td> <td>1 × β</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高級船員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通船員</td> <td></td> <td>〃</td> <td>4 × β</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損 料</td> <td>供 用 日</td> <td></td> <td>α</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量		摘 要	10,000 t 積		主 燃 料	軽 油		255			船 団 長		人	1 × β			高級船員		〃	—			普通船員		〃	4 × β			損 料	供 用 日		α			燃料消費量を改定												
名 称	形状寸法				単 位	数 量		摘 要																																																																																			
		10,000 t 積																																																																																									
主 燃 料	軽 油		187																																																																																								
船 団 長		人	1 × β																																																																																								
高級船員		〃	—																																																																																								
普通船員		〃	4 × β																																																																																								
損 料	供 用 日		α																																																																																								
名 称	形状寸法	単 位	数 量		摘 要																																																																																						
			10,000 t 積																																																																																								
主 燃 料	軽 油		255																																																																																								
船 団 長		人	1 × β																																																																																								
高級船員		〃	—																																																																																								
普通船員		〃	4 × β																																																																																								
損 料	供 用 日		α																																																																																								

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧:平成31年度)	改 定 (新:令和2年度)	コ メ ン ト																																																																																																																																																														
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.1 ケーソン式 補足資料-1 本土工(ケーソン式) P3-4.1-(16) 番号13	<p>8. ケーソン据付用上蓋取付および取外の計上 上蓋の取付および取外が別件工事の場合は、下記により計上する。</p> <p>ケーソン据付用上蓋取付・取外 1函当り</p> <table border="1" data-bbox="433 401 1400 997"> <thead> <tr> <th rowspan="4">名 称</th> <th rowspan="4">形 状 寸 法</th> <th rowspan="4">単 位</th> <th colspan="5">数 量</th> <th rowspan="4">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="3">取 付</th> <th colspan="2">取 外</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン 製作用 台船方式</th> <th>陸 上</th> <th>海 上</th> <th>海 上</th> <th>海 上</th> </tr> <tr> <th>ケーソン 製作用 台船方式 (DD)</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th>(FD)</th> <th>陸上 クレーン</th> <th>貸与 クレーン</th> <th>海上 クレーン</th> <th>海上 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 蓋 使 用 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="5"></td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>上 蓋 取 付 取 外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>函</td> <td colspan="3">0.6</td> <td>0.4</td> <td>//</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起 重 機 船</td> <td>非航旋回鋼D120t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D700PS型</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーンの規格は現場条件により決定する。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3.上蓋使用料はケーソン天端面積を対象とする。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量					摘 要	取 付			取 外		ケーソン 製作用 台船方式	陸 上	海 上	海 上	海 上	ケーソン 製作用 台船方式 (DD)				(FD)	陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン	海上 クレーン	上 蓋 使 用 料		m ²						市場単価	上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函	0.6			0.4	//	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	//	-	-	0.3	-		起 重 機 船	非航旋回鋼D120t吊	//	-	-	-	0.3	0.2	運4H/就8H	引 船	鋼D700PS型	//	-	-	-	0.3	0.2	運2H/就8H	<p>8. ケーソン据付用上蓋取付および取外の計上 上蓋の取付および取外が別件工事の場合は、下記により計上する。</p> <p>ケーソン据付用上蓋取付・取外 1函当り</p> <table border="1" data-bbox="1629 401 2597 997"> <thead> <tr> <th rowspan="4">名 称</th> <th rowspan="4">形 状 寸 法</th> <th rowspan="4">単 位</th> <th colspan="5">数 量</th> <th rowspan="4">摘 要</th> </tr> <tr> <th colspan="3">取 付</th> <th colspan="2">取 外</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">ケーソン 製作用 台船方式</th> <th>陸 上</th> <th>海 上</th> <th>海 上</th> <th>海 上</th> </tr> <tr> <th>ケーソン 製作用 台船方式 (DD)</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <th>(FD)</th> <th>陸上 クレーン</th> <th>貸与 クレーン</th> <th>海上 クレーン</th> <th>海上 クレーン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上 蓋 使 用 料</td> <td></td> <td>m²</td> <td colspan="5"></td> <td>見積もりによる</td> </tr> <tr> <td>上 蓋 取 付 取 外</td> <td>クレーン抜き</td> <td>函</td> <td colspan="3">0.6</td> <td>0.4</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン または クローラクレーン</td> <td>(油) t吊</td> <td>日</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>貸与クレーン運転費</td> <td>t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>起 重 機 船</td> <td>非航旋回鋼D120t吊</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>運4H/就8H</td> </tr> <tr> <td>引 船</td> <td>鋼D700PS型</td> <td>//</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.ラフテレーンクレーンまたはクローラクレーンの規格は現場条件により決定する。 2.貸与クレーン運転費は、必要費用を計上する。 3.上蓋使用料はケーソン天端面積を対象とする。</p>	名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量					摘 要	取 付			取 外		ケーソン 製作用 台船方式	陸 上	海 上	海 上	海 上	ケーソン 製作用 台船方式 (DD)				(FD)	陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン	海上 クレーン	上 蓋 使 用 料		m ²						見積もりによる	上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函	0.6			0.4	市場単価	ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	-	標準運転時間	貸与クレーン運転費	t吊	//	-	-	0.3	-		起 重 機 船	非航旋回鋼D120t吊	//	-	-	-	0.3	0.2	運4H/就8H	引 船	鋼D700PS型	//	-	-	-	0.3	0.2	運2H/就8H	標準市場単価からの除外による変更
名 称	形 状 寸 法				単 位	数 量					摘 要																																																																																																																																																						
						取 付			取 外																																																																																																																																																								
						ケーソン 製作用 台船方式	陸 上	海 上	海 上			海 上																																																																																																																																																					
		ケーソン 製作用 台船方式 (DD)																																																																																																																																																															
(FD)	陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン	海上 クレーン																																																																																																																																																													
上 蓋 使 用 料		m ²						市場単価																																																																																																																																																									
上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函	0.6			0.4	//																																																																																																																																																										
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	-	標準運転時間																																																																																																																																																										
貸与クレーン運転費	t吊	//	-	-	0.3	-																																																																																																																																																											
起 重 機 船	非航旋回鋼D120t吊	//	-	-	-	0.3	0.2	運4H/就8H																																																																																																																																																									
引 船	鋼D700PS型	//	-	-	-	0.3	0.2	運2H/就8H																																																																																																																																																									
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量					摘 要																																																																																																																																																									
			取 付			取 外																																																																																																																																																											
			ケーソン 製作用 台船方式	陸 上	海 上	海 上	海 上																																																																																																																																																										
				ケーソン 製作用 台船方式 (DD)																																																																																																																																																													
(FD)	陸上 クレーン	貸与 クレーン	海上 クレーン	海上 クレーン																																																																																																																																																													
上 蓋 使 用 料		m ²						見積もりによる																																																																																																																																																									
上 蓋 取 付 取 外	クレーン抜き	函	0.6			0.4	市場単価																																																																																																																																																										
ラフテレーンクレーン または クローラクレーン	(油) t吊	日	-	0.3	-	-	標準運転時間																																																																																																																																																										
貸与クレーン運転費	t吊	//	-	-	0.3	-																																																																																																																																																											
起 重 機 船	非航旋回鋼D120t吊	//	-	-	-	0.3	0.2	運4H/就8H																																																																																																																																																									
引 船	鋼D700PS型	//	-	-	-	0.3	0.2	運2H/就8H																																																																																																																																																									
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.5 鋼矢板式 補足資料-1 本土工(鋼矢板式、 鋼杭式共通) P3-4.5-(13) 番号14	<p>3. 鋼管杭、鋼管矢板のエキストラ 設計図書に付属品等が記載されていない場合は、下記を参考とする。</p> <p>1) 鋼管杭、鋼管矢板のエキストラ対象質量</p> <table border="1" data-bbox="394 1230 1285 1440"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項 目</th> <th rowspan="2">素 管 質 量</th> <th colspan="6">付 属 品 質 量</th> </tr> <tr> <th>補強バンド</th> <th>裏当てリング (ジョイント)</th> <th>チャッキング プレート</th> <th>アングルリング 吊金具</th> <th>鋼管矢板 継手(爪)</th> <th>その他 付属品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 格</td> <td>○</td> <td>△注④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外 径</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>肉 厚</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長 さ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地 域</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.外径エキストラは、鋼管本体、端部補強バンド、現場円周溶接用部材の質量を対象とする。 (単管に取付けられた場合に限る) 2.長さエキストラは、鋼管本体、継手及び本体または継手に取付けられている全ての付属品の質量を対象とする。(単管に取付けられた場合に限る) 3.地域エキストラは、鋼管本体、継手及び全ての付属品の質量を対象とする。 (単管への取付の有無にかかわらず全ての質量) 4.補強バンドが単管と同一規格でベース規格外の場合は、規格エキストラの対象とする。</p>	項 目	素 管 質 量	付 属 品 質 量						補強バンド	裏当てリング (ジョイント)	チャッキング プレート	アングルリング 吊金具	鋼管矢板 継手(爪)	その他 付属品	規 格	○	△注④						外 径	○	○	○					肉 厚	○							長 さ	○	○	○	○	○	○	○	地 域	○	○	○	○	○	○	○	<p>3. 鋼管杭、鋼管矢板のエキストラ 設計図書に付属品等が記載されていない場合は、下記を参考とする。</p> <p>1) 鋼管杭、鋼管矢板のエキストラ対象質量</p> <table border="1" data-bbox="1590 1230 2481 1440"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項 目</th> <th rowspan="2">素 管 質 量</th> <th colspan="6">付 属 品 質 量</th> </tr> <tr> <th>補強バンド</th> <th>裏当てリング (ジョイント)</th> <th>チャッキング プレート</th> <th>アングルリング 吊金具</th> <th>鋼管矢板 継手(爪)</th> <th>その他 付属品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規 格</td> <td>○</td> <td>△注④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外 径</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>肉 厚</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長 さ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>地 域</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.外径エキストラは、鋼管本体、端部補強バンド、現場円周溶接用部材の質量を対象とする。 (単管に取付けられた場合に限る) 2.長さエキストラは、鋼管本体、継手及び本体または継手に取付けられている全ての付属品の質量を対象とする。(単管に取付けられた場合に限る) 3.地域エキストラは、鋼管本体、継手及び全ての付属品の質量を対象とする。 (単管への取付の有無にかかわらず全ての質量) 4.補強バンドが単管と同一規格でベース規格外の場合は、規格エキストラの対象とする。 <u>5.重防食の塗覆装長は、重防食エキストラの経済性を考慮し設定するものとする。</u></p>	項 目	素 管 質 量	付 属 品 質 量						補強バンド	裏当てリング (ジョイント)	チャッキング プレート	アングルリング 吊金具	鋼管矢板 継手(爪)	その他 付属品	規 格	○	△注④						外 径	○	○	○					肉 厚	○							長 さ	○	○	○	○	○	○	○	地 域	○	○	○	○	○	○	○	経済性を考慮する旨の注釈を追記																																																		
項 目	素 管 質 量			付 属 品 質 量																																																																																																																																																													
		補強バンド	裏当てリング (ジョイント)	チャッキング プレート	アングルリング 吊金具	鋼管矢板 継手(爪)	その他 付属品																																																																																																																																																										
規 格	○	△注④																																																																																																																																																															
外 径	○	○	○																																																																																																																																																														
肉 厚	○																																																																																																																																																																
長 さ	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																										
地 域	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																										
項 目	素 管 質 量	付 属 品 質 量																																																																																																																																																															
		補強バンド	裏当てリング (ジョイント)	チャッキング プレート	アングルリング 吊金具	鋼管矢板 継手(爪)	その他 付属品																																																																																																																																																										
規 格	○	△注④																																																																																																																																																															
外 径	○	○	○																																																																																																																																																														
肉 厚	○																																																																																																																																																																
長 さ	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																										
地 域	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																										

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行 (旧:平成31年度)	改定 (新:令和2年度)	コメント																				
第3章 直接工事費の施工歩掛 4節 本土工 4.5 鋼矢板式 補足資料-1 本土工 (鋼矢板式、 鋼杭式共通) P3-4.5-(15) 番号15	<p>取付詳細図</p> <p>(杭)</p> <p>タイロッド</p> <p>溝形鋼 (高さh)</p> <p>調整長</p> <p>最小かぶり厚 5cm</p> <p>定着ワッシャー (厚さt1)</p> <p>定着プレート (厚さt2)</p> <p>定着ナット</p>	<p>取付詳細図</p> <p>(杭)</p> <p>タイロッド</p> <p>溝形鋼 (高さh)</p> <p>調整長</p> <p>最小かぶり厚 5cm</p> <p>定着ワッシャー (厚さt1)</p> <p>定着プレート (厚さt2)</p> <p>定着ナット</p>	矢印が指す箇所を分かりやすく変更																				
第5章 間接工事費の施工歩掛 2節 運搬費 P5-2-1 番号16	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>仮設材等運搬の積算 → 仮設材等運搬代価表</p> <p>3-3 仮設材等運搬</p> <p>運搬車両の選定</p> <p>↓</p> <p>貨物自動車運賃の算定</p> <p>↓</p> <p>荷卸し・積込み費用の計上</p> <p>↓</p> <p>代価表の作成</p>	<p>1-4 標準的な積算手順</p> <p>仮設材等運搬の積算 → 仮設材等運搬代価表</p> <p>3-3 仮設材等運搬</p> <p>運搬車両の選定</p> <p>↓</p> <p>貨物自動車運賃の算定</p> <p>↓</p> <p>取卸し・積込み費用の計上</p> <p>↓</p> <p>代価表の作成</p>	言葉の統一																				
第5章 間接工事費の施工歩掛 2節 運搬費 P5-2-8 番号17	<p>(3)運搬 1式当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貨物自動車運賃</td> <td>t車</td> <td>台</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	貨物自動車運賃	t車	台			<p>(3)運搬 1式当り</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貨物自動車運賃</td> <td>t車 (削除)</td> <td>台</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	貨物自動車運賃	t車 (削除)	台			字句の削除
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
貨物自動車運賃	t車	台																					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
貨物自動車運賃	t車 (削除)	台																					
第5章 間接工事費の施工歩掛 2節 運搬費 P5-2-9 番号18	<p>3-3 仮設材等運搬</p> <p>3-3-1 代価表作成手順</p> <p>3-3-2</p> <p>・運搬物の質量、形状、 ・運搬距離(片道) → 貨物自動車運賃の算定 → ①貨物自動車運賃</p> <p>↓</p> <p>・仮設材の種類、 ・現場条件 → 荷卸し・積込み費用の計上の検討 → ②荷卸し・積込み費用が必要な場合計上する</p> <p>↓</p> <p>①貨物自動車運賃 → 代価表の作成 → ・仮設材等運搬1式当り代価表</p>	<p>3-3 仮設材等運搬</p> <p>3-3-1 代価表作成手順</p> <p>3-3-2</p> <p>・運搬物の質量、形状、 ・運搬距離(片道) → 貨物自動車運賃の算定 → ①貨物自動車運賃</p> <p>↓</p> <p>・仮設材の種類、 ・現場条件 → 取卸し・積込み費用の計上の検討 → ②取卸し・積込み費用が必要な場合計上する</p> <p>↓</p> <p>①貨物自動車運賃 → 代価表の作成 → ・仮設材等運搬1式当り代価表</p>	言葉の統一																				

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧:平成31年度)	改 定 (新:令和2年度)	コ メ ン ト																																																																
第5章 間接工事費の施工歩掛 2節 運搬費 P5-2-10 番号19	2) 仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等)の積込み、取卸しに要する費用 仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等)の積込み・取卸し費 <table border="1" data-bbox="329 373 1050 632"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>作 業</th> <th colspan="2">費 用 (円/t)</th> <th rowspan="4">3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基 地</td> <td>積 込 み</td> <td>750</td> <td rowspan="2">1,500</td> </tr> <tr> <td>取 卸 し</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現 場</td> <td>積 込 み</td> <td>750</td> <td rowspan="2">1,500</td> </tr> <tr> <td>取 卸 し</td> <td>750</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 仮設材等運搬 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="424 705 1270 863"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貨物自動車運賃</td> <td><u>t車</u></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>荷卸し・積込み費用</u></td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 鋼矢板、H形鋼、覆工板ならびにそれに準ずる仮設材については、<u>荷卸し・積込み費用</u>を計上する。</p>	場 所	作 業	費 用 (円/t)		3,000	基 地	積 込 み	750	1,500	取 卸 し	750	現 場	積 込 み	750	1,500	取 卸 し	750	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	貨物自動車運賃	<u>t車</u>	式			<u>荷卸し・積込み費用</u>		式			2) 仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等)の積込み、取卸しに要する費用 仮設材(鋼矢板、H形鋼、覆工板等)の積込み・取卸し費 <table border="1" data-bbox="1516 373 2237 632"> <thead> <tr> <th>場 所</th> <th>作 業</th> <th colspan="2">費 用 (円/t)</th> <th rowspan="4">3,000</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">基 地</td> <td>積 込 み</td> <td>750</td> <td rowspan="2">1,500</td> </tr> <tr> <td>取 卸 し</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現 場</td> <td>積 込 み</td> <td>750</td> <td rowspan="2">1,500</td> </tr> <tr> <td>取 卸 し</td> <td>750</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 仮設材等運搬 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="1611 705 2457 863"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貨物自動車運賃</td> <td>t車 (削除)</td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>取卸し・積込み費用</u></td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 鋼矢板、H形鋼、覆工板ならびにそれに準ずる仮設材については、<u>取卸し・積込み費用</u>を計上する。</p>	場 所	作 業	費 用 (円/t)		3,000	基 地	積 込 み	750	1,500	取 卸 し	750	現 場	積 込 み	750	1,500	取 卸 し	750	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	貨物自動車運賃	t車 (削除)	式			<u>取卸し・積込み費用</u>		式			字句の削除 言葉の統一
場 所	作 業	費 用 (円/t)		3,000																																																															
基 地	積 込 み	750	1,500																																																																
	取 卸 し	750																																																																	
現 場	積 込 み	750	1,500																																																																
	取 卸 し	750																																																																	
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																															
貨物自動車運賃	<u>t車</u>	式																																																																	
<u>荷卸し・積込み費用</u>		式																																																																	
場 所	作 業	費 用 (円/t)		3,000																																																															
基 地	積 込 み	750	1,500																																																																
	取 卸 し	750																																																																	
現 場	積 込 み	750	1,500																																																																
	取 卸 し	750																																																																	
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																															
貨物自動車運賃	t車 (削除)	式																																																																	
<u>取卸し・積込み費用</u>		式																																																																	
第5章 間接工事費の施工歩掛 4節 事業損失防止施設費 P5-4-2 番号20	2. 水質汚濁防止膜 水質汚濁防止膜に含まれる代価表は、下表のとおりである。 <table border="1" data-bbox="412 1058 1323 1520"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業損失防止 施設費</td> <td rowspan="3">水質汚濁防止膜</td> <td>汚濁防止膜</td> <td>汚濁防止膜設置 120m当り</td> </tr> <tr> <td>設置・撤去</td> <td>汚濁防止膜撤去 120m当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜賃料 1式当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜移設</td> <td>汚濁防止膜移設 120m当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜保守管理</td> <td><u>保守管理</u> 1式当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜清掃</td> <td>汚濁防止膜清掃 100m²当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水質汚濁防止膜 (処分費)</td> <td>汚濁防止膜清掃</td> <td>処 分 費 1式当り (処分費)</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		事業損失防止 施設費	水質汚濁防止膜	汚濁防止膜	汚濁防止膜設置 120m当り	設置・撤去	汚濁防止膜撤去 120m当り		汚濁防止膜賃料 1式当り		汚濁防止膜移設	汚濁防止膜移設 120m当り		汚濁防止膜保守管理	<u>保守管理</u> 1式当り		汚濁防止膜清掃	汚濁防止膜清掃 100m ² 当り		水質汚濁防止膜 (処分費)	汚濁防止膜清掃	処 分 費 1式当り (処分費)	2. 水質汚濁防止膜 水質汚濁防止膜に含まれる代価表は、下表のとおりである。 <table border="1" data-bbox="1611 1058 2522 1520"> <thead> <tr> <th>種別(レベル3)</th> <th>細別(レベル4)</th> <th colspan="2">積算要素(レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">事業損失防止 施設費</td> <td rowspan="3">水質汚濁防止膜</td> <td>汚濁防止膜</td> <td>汚濁防止膜設置 120m当り</td> </tr> <tr> <td>設置・撤去</td> <td>汚濁防止膜撤去 120m当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜賃料 1式当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜移設</td> <td>汚濁防止膜移設 120m当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜保守管理</td> <td><u>汚濁防止膜点検</u> 1式当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚濁防止膜清掃</td> <td>汚濁防止膜清掃 100m²当り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水質汚濁防止膜 (処分費)</td> <td>汚濁防止膜清掃</td> <td>処 分 費 1式当り (処分費)</td> </tr> </tbody> </table>	種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)		事業損失防止 施設費	水質汚濁防止膜	汚濁防止膜	汚濁防止膜設置 120m当り	設置・撤去	汚濁防止膜撤去 120m当り		汚濁防止膜賃料 1式当り		汚濁防止膜移設	汚濁防止膜移設 120m当り		汚濁防止膜保守管理	<u>汚濁防止膜点検</u> 1式当り		汚濁防止膜清掃	汚濁防止膜清掃 100m ² 当り		水質汚濁防止膜 (処分費)	汚濁防止膜清掃	処 分 費 1式当り (処分費)	市場単価化による改定														
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																																																	
事業損失防止 施設費	水質汚濁防止膜	汚濁防止膜	汚濁防止膜設置 120m当り																																																																
		設置・撤去	汚濁防止膜撤去 120m当り																																																																
			汚濁防止膜賃料 1式当り																																																																
		汚濁防止膜移設	汚濁防止膜移設 120m当り																																																																
		汚濁防止膜保守管理	<u>保守管理</u> 1式当り																																																																
		汚濁防止膜清掃	汚濁防止膜清掃 100m ² 当り																																																																
	水質汚濁防止膜 (処分費)	汚濁防止膜清掃	処 分 費 1式当り (処分費)																																																																
種別(レベル3)	細別(レベル4)	積算要素(レベル6)																																																																	
事業損失防止 施設費	水質汚濁防止膜	汚濁防止膜	汚濁防止膜設置 120m当り																																																																
		設置・撤去	汚濁防止膜撤去 120m当り																																																																
			汚濁防止膜賃料 1式当り																																																																
		汚濁防止膜移設	汚濁防止膜移設 120m当り																																																																
		汚濁防止膜保守管理	<u>汚濁防止膜点検</u> 1式当り																																																																
		汚濁防止膜清掃	汚濁防止膜清掃 100m ² 当り																																																																
	水質汚濁防止膜 (処分費)	汚濁防止膜清掃	処 分 費 1式当り (処分費)																																																																

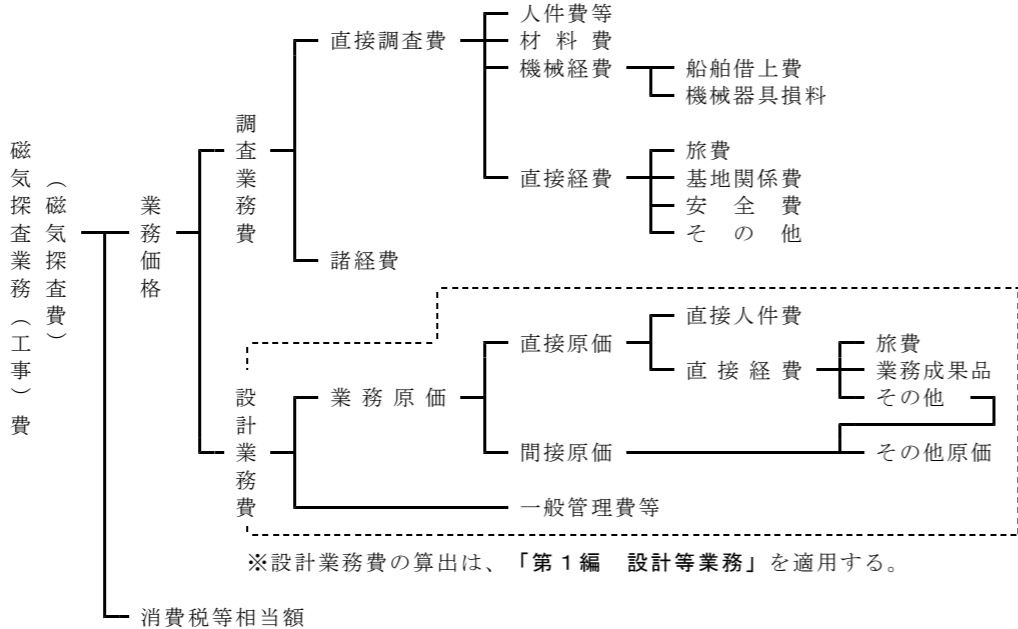
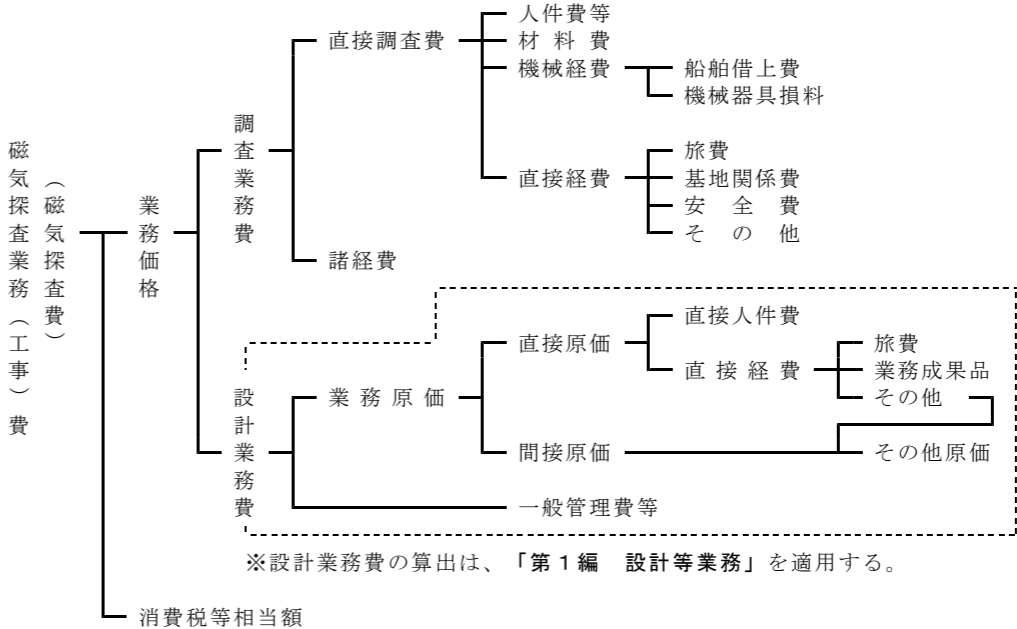
令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧：平成31年度）	改定（新：令和2年度）	コメント																																																																																						
第5章 間接工事費の施工歩掛 4節 事業損失防止施設費 P5-4-4 番号21	<p>2-5 汚濁防止膜保守管理 2-5-1 代価作成手順</p> <p>・現場条件 → 作業船の選定 → ①交通船または潜水土船</p> <p>↓</p> <p>・汚濁防止膜設置期間 → 点検回数の算定 → ②点検回数</p> <p>↓</p> <p>②点検回数 → 点検歩掛の算定 → ③運転日数 (交通船または潜水土船) ④普通作業員人数</p> <p>↓</p> <p>①交通船または潜水土船 ③運転日数 ④普通作業員人数 → 代価表の作成 → ・保守管理1式当り 代価表</p> <p>2-5-2 施工方式 1) 保守管理は、3日に1回の点検を標準とする。 2) 1回の保守管理は施工延長1,000mまでとし、1,000mを超える場合は別途考慮する。 3) 船舶機械の組合せ</p> <table border="1" data-bbox="409 913 1270 1071"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>保守管理</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通船 または 潜水土船</td> <td>FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5-3 施工歩掛 1) 作業能力 点検1回当りの作業船および普通作業員の歩掛は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="409 1192 1270 1333"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>500m未満</th> <th>500m以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通船</td> <td>FRPD 70PS型</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> <td>点検1回当り</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>//</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 代価表 (1) 保守管理 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1432 1270 1585"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通船</td> <td>FRPD 70PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>就業SH</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 現場条件により交通船に替えて潜水土船を計上することができる。 2. 現場条件により就業時間を変更する場合は、別途積算する。</p> <p>〔計算例〕 条件：施工延長 700m, 対象期間 70日</p> <p>①点検回数 70日 × 1回/3日 = 23回 (小数1位四捨五入)</p> <p>②交通船 運転日数 0.6日/回 × 23回 = 13.8日 (小数2位四捨五入)</p> <p>③普通作業員 0.4人/回 × 23回 = 9.2人 (小数2位四捨五入)</p>	名称	形状寸法	保守管理	摘要	交通船 または 潜水土船	FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊	○		名称	形状寸法	単位	数量		摘要	500m未満	500m以上	交通船	FRPD 70PS型	日	0.3	0.6	点検1回当り	普通作業員		人	0.2	0.4	//	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	交通船	FRPD 70PS型	日		就業SH	普通作業員		人			雑材料					<p>2-5 汚濁防止膜保守管理 2-5-1 代価作成手順 [汚濁防止膜保守管理の積算]</p> <p>・工種等 ・供用係数 → 市場単価適用の検討 → ・市場単価適用条件以外は 別途積算</p> <p>↓</p> <p>【第4章 市場単価】</p> <p>・標準市場単価 → 代価表の作成 → ・汚濁防止膜保守管理 1式当り代価表</p> <p>2-5-2 施工方式 1) 汚濁防止膜保守管理は、3日に1回の点検を標準とする。 2) 1回の保守管理は施工延長1,000mまでとし、1,000mを超える場合は別途考慮する。(削除) 3) 船舶機械の組合せ (削除)</p> <table border="1" data-bbox="1596 913 2457 1071"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>保守管理</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通船 または 潜水土船</td> <td>FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5-3 施工歩掛 1) 作業能力 (削除) 点検1回当りの作業船および普通作業員の歩掛は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="1617 1192 2478 1333"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>500m未満</th> <th>500m以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通船</td> <td>FRPD 70PS型</td> <td>日</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> <td>点検1回当り</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>//</td> </tr> </tbody> </table> <p>1) 代価表 (1) 汚濁防止膜保守管理 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="1638 1432 2499 1512"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>汚濁防止膜点検</td> <td></td> <td>回</td> <td></td> <td>市場単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔計算例〕 条件：施工延長 700m, 対象期間 70日</p> <p>⊕点検回数 70日 × 1回/3日 = 23回 (小数1位四捨五入)</p> <p>⊖交通船 (削除) 運転日数 0.6日/回 × 23回 = 13.8日 (小数2位四捨五入)</p> <p>⊖普通作業員 0.4人/回 × 23回 = 9.2人 (小数2位四捨五入)</p>	名称	形状寸法	保守管理	摘要	交通船 または 潜水土船	FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊	○		名称	形状寸法	単位	数量		摘要	500m未満	500m以上	交通船	FRPD 70PS型	日	0.3	0.6	点検1回当り	普通作業員		人	0.2	0.4	//	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	汚濁防止膜点検		回		市場単価	市場単価化による改定
名称	形状寸法	保守管理	摘要																																																																																						
交通船 または 潜水土船	FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊	○																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																				
			500m未満	500m以上																																																																																					
交通船	FRPD 70PS型	日	0.3	0.6	点検1回当り																																																																																				
普通作業員		人	0.2	0.4	//																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																					
交通船	FRPD 70PS型	日		就業SH																																																																																					
普通作業員		人																																																																																							
雑材料																																																																																									
名称	形状寸法	保守管理	摘要																																																																																						
交通船 または 潜水土船	FRPD 70PS型 D180PS型 3~5t吊	○																																																																																							
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																				
			500m未満	500m以上																																																																																					
交通船	FRPD 70PS型	日	0.3	0.6	点検1回当り																																																																																				
普通作業員		人	0.2	0.4	//																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																					
汚濁防止膜点検		回		市場単価																																																																																					

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲 載 頁	現 行 (旧:平成31年度)	改 定 (新:令和2年度)	コ メ ン ト																																																																																																																
第5章 間接工事費の施工歩掛 5節 安全費 P5-5-4 番号22	<p>3-2-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 安全監視船 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 401 1255 659"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安 全 監 視 船</td> <td>FRPD 180PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>就業 H</td> </tr> <tr> <td>安 全 監 視 船</td> <td>FRPD 260PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>就業 H</td> </tr> <tr> <td>国 際 V H F 装 備</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>損料</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. <u>国際VHF装備の使用は260PS型を標準とする。</u> 2. 安全監視船の規格は、現場条件により他規格を使用できる。 3. 安全監視船の就業時間は、監視対象船舶の就業時間と同一とする。 4. 国際VHF装備損料=供用1日当り損料×α (供用係数)</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	安 全 監 視 船	FRPD 180PS型	日		就業 H	安 全 監 視 船	FRPD 260PS型	日		就業 H	国 際 V H F 装 備		日		損料	雑 材 料					<p>3-2-2 施工歩掛 1) 代価表 (1) 安全監視船 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 401 2442 659"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安 全 監 視 船</td> <td>FRPD 180PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>就業 H</td> </tr> <tr> <td>安 全 監 視 船</td> <td>FRPD 260PS型</td> <td>日</td> <td></td> <td>就業 H</td> </tr> <tr> <td>国 際 V H F 装 備</td> <td></td> <td>日</td> <td></td> <td>損料</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. <u>安全監視船の規格は180PS型を標準とし、国際VHF装備使用の場合は260PS型を標準とする。</u> 2. 安全監視船の規格は、現場条件により他規格を使用できる。 3. 安全監視船の就業時間は、監視対象船舶の就業時間と同一とする。 4. 国際VHF装備損料=供用1日当り損料×α (供用係数)</p>	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	安 全 監 視 船	FRPD 180PS型	日		就業 H	安 全 監 視 船	FRPD 260PS型	日		就業 H	国 際 V H F 装 備		日		損料	雑 材 料					分かりやすい文に変更																																																														
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
安 全 監 視 船	FRPD 180PS型	日		就業 H																																																																																																															
安 全 監 視 船	FRPD 260PS型	日		就業 H																																																																																																															
国 際 V H F 装 備		日		損料																																																																																																															
雑 材 料																																																																																																																			
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
安 全 監 視 船	FRPD 180PS型	日		就業 H																																																																																																															
安 全 監 視 船	FRPD 260PS型	日		就業 H																																																																																																															
国 際 V H F 装 備		日		損料																																																																																																															
雑 材 料																																																																																																																			
第2編 測量・調査等業務 1節 測量業務 P2-1-(4) 番号23	<p>2-4-2 艦装テスト 測量船への機器取付および動作確認を実施する。 艦装テスト 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 947 1234 1333"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交 通 車</td> <td>ライトバン 2ℓ</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>主 任 技 師</td> <td>測量</td> <td>人</td> <td><u>0.5</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技 師</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技 師 補</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助 手</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>0.5</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測 量 船</td> <td>FRP D 70PS型</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>G N S S</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>損料 注)</td> </tr> <tr> <td>マルチビーム測深機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>損料 注)</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 機種を選定は仕様書の定めによる。 2. 測量機器の使用で、従局までの機械運搬が必要な場合は別途計上する。 3. GNSSは、DGNSSを標準とする。なお、より高い精度を必要とする場合にはRTKGNSS (特定小電力方式)を使用することができる。 損料は以下による。 GNSSおよびマルチビーム測深機1日当り損料=供用1日当り損料×α (供用係数) (参考) 各GNSSの測量機器構成</p> <table border="1" data-bbox="454 1486 1166 1602"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測量機器構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RTKGNSS</td> <td>陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)</td> </tr> <tr> <td>DGNSS</td> <td>陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	交 通 車	ライトバン 2ℓ	日	1	運2H/就8H	主 任 技 師	測量	人	<u>0.5</u>		技 師	〃	〃	<u>1</u>		技 師 補	〃	〃	<u>1</u>		助 手	〃	〃	<u>0.5</u>		測 量 船	FRP D 70PS型	日	1	就業8H	G N S S		〃	1	損料 注)	マルチビーム測深機		〃	1	損料 注)	雑 材 料		%	1		名 称	測量機器構成	RTKGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)	DGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)	<p>2-4-2 艦装テスト 測量船への機器取付および動作確認を実施する。 艦装テスト 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="1605 947 2430 1333"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>形状寸法</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交 通 車</td> <td>ライトバン 2ℓ</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>運2H/就8H</td> </tr> <tr> <td>主 任 技 師</td> <td>測量</td> <td>人</td> <td><u>1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技 師</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>1.5</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>技 師 補</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>1.5</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助 手</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td><u>1</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測 量 船</td> <td>FRP D 70PS型</td> <td>日</td> <td>1</td> <td>就業8H</td> </tr> <tr> <td>G N S S</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>損料 注)</td> </tr> <tr> <td>マルチビーム測深機</td> <td></td> <td>〃</td> <td>1</td> <td>損料 注)</td> </tr> <tr> <td>雑 材 料</td> <td></td> <td>%</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 機種を選定は仕様書の定めによる。 2. 測量機器の使用で、従局までの機械運搬が必要な場合は別途計上する。 3. GNSSは、DGNSSを標準とする。なお、より高い精度を必要とする場合にはRTKGNSS (特定小電力方式)を使用することができる。 損料は以下による。 GNSSおよびマルチビーム測深機1日当り損料=供用1日当り損料×α (供用係数) (参考) 各GNSSの測量機器構成</p> <table border="1" data-bbox="1650 1486 2362 1602"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>測量機器構成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RTKGNSS</td> <td>陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)</td> </tr> <tr> <td>DGNSS</td> <td>陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要	交 通 車	ライトバン 2ℓ	日	1	運2H/就8H	主 任 技 師	測量	人	<u>1</u>		技 師	〃	〃	<u>1.5</u>		技 師 補	〃	〃	<u>1.5</u>		助 手	〃	〃	<u>1</u>		測 量 船	FRP D 70PS型	日	1	就業8H	G N S S		〃	1	損料 注)	マルチビーム測深機		〃	1	損料 注)	雑 材 料		%	1		名 称	測量機器構成	RTKGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)	DGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)	歩掛の改定
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
交 通 車	ライトバン 2ℓ	日	1	運2H/就8H																																																																																																															
主 任 技 師	測量	人	<u>0.5</u>																																																																																																																
技 師	〃	〃	<u>1</u>																																																																																																																
技 師 補	〃	〃	<u>1</u>																																																																																																																
助 手	〃	〃	<u>0.5</u>																																																																																																																
測 量 船	FRP D 70PS型	日	1	就業8H																																																																																																															
G N S S		〃	1	損料 注)																																																																																																															
マルチビーム測深機		〃	1	損料 注)																																																																																																															
雑 材 料		%	1																																																																																																																
名 称	測量機器構成																																																																																																																		
RTKGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)																																																																																																																		
DGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)																																																																																																																		
名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要																																																																																																															
交 通 車	ライトバン 2ℓ	日	1	運2H/就8H																																																																																																															
主 任 技 師	測量	人	<u>1</u>																																																																																																																
技 師	〃	〃	<u>1.5</u>																																																																																																																
技 師 補	〃	〃	<u>1.5</u>																																																																																																																
助 手	〃	〃	<u>1</u>																																																																																																																
測 量 船	FRP D 70PS型	日	1	就業8H																																																																																																															
G N S S		〃	1	損料 注)																																																																																																															
マルチビーム測深機		〃	1	損料 注)																																																																																																															
雑 材 料		%	1																																																																																																																
名 称	測量機器構成																																																																																																																		
RTKGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計2台)																																																																																																																		
DGNSS	陸上基準点1点、移動局1点 (GNSS受信機計1台)																																																																																																																		

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧：平成31年度）	改定（新：令和2年度）	コメント																																								
第2編 測量・調査等業務 1節 測量業務 P2-1-(6) 番号26	(2) 労務人数 職種別人員は測深面積(A)をもとに、下表により求める。 <table border="1" data-bbox="409 352 1062 489"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>マルチビーム測深</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主任技師</td> <td>$3.0 + 1.0 \times A$</td> <td rowspan="3">A：測深面積(km²)</td> </tr> <tr> <td>技師</td> <td>$10.0 + 3.2 \times A$</td> </tr> <tr> <td>技師補</td> <td>$9.0 + 4.4 \times A$</td> </tr> </tbody> </table> 注) 端数処理は小数2位四捨五入とする。	名称	マルチビーム測深	摘要	主任技師	$3.0 + 1.0 \times A$	A：測深面積(km ²)	技師	$10.0 + 3.2 \times A$	技師補	$9.0 + 4.4 \times A$	(2) 労務人数 職種別人員は測深面積(A)をもとに、下表により求める。 <table border="1" data-bbox="1596 352 2249 489"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>マルチビーム測深</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主任技師</td> <td>$4 + 0.6 \times A$</td> <td rowspan="3">A：測深面積(km²)</td> </tr> <tr> <td>技師</td> <td>$10 + 5.1 \times A$</td> </tr> <tr> <td>技師補</td> <td>$9 + 4.6 \times A$</td> </tr> </tbody> </table> 注) 端数処理は小数2位四捨五入とする。	名称	マルチビーム測深	摘要	主任技師	$4 + 0.6 \times A$	A：測深面積(km ²)	技師	$10 + 5.1 \times A$	技師補	$9 + 4.6 \times A$	歩掛の改定																				
名称	マルチビーム測深	摘要																																									
主任技師	$3.0 + 1.0 \times A$	A：測深面積(km ²)																																									
技師	$10.0 + 3.2 \times A$																																										
技師補	$9.0 + 4.4 \times A$																																										
名称	マルチビーム測深	摘要																																									
主任技師	$4 + 0.6 \times A$	A：測深面積(km ²)																																									
技師	$10 + 5.1 \times A$																																										
技師補	$9 + 4.6 \times A$																																										
第2編 測量・調査等業務 5節 磁気探査業務 P2-5-1 番号27	1-1 適用範囲 この積算基準は、港湾工事における磁気探査業務（工事）を実施する場合に適用する。 1-2 積算価格の構成  ※設計業務費の算出は、「第1編 設計等業務」を適用する。 注) <u>作業船の回航等を含む場合の構成</u> 磁気探査工事費 — 磁気探査費 — 回航費等	1-1 適用範囲 この積算基準は、港湾工事における磁気探査業務（工事）を実施する場合に適用する。 1-2 積算価格の構成  ※設計業務費の算出は、「第1編 設計等業務」を適用する。 注) <u>積算価格の構成は磁気探査を単独で積算する場合であり、作業船に回航・えい航が必要な場合は、工事費の積算に間接工事費・共通仮設費（積上）にて計上し、合併積算とする。</u>	分かりやすい文に変更																																								
第2編 測量・調査等業務 その他 P2-(9) 番号28	②風向・風速整理 30日当り（720回） <table border="1" data-bbox="400 1606 1181 1680"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> 注) 整理にパソコン等を使用し、本歩掛により難しい場合は、別途決定する。 ③風向・風速年間整理 12ヶ月当り <table border="1" data-bbox="400 1753 1181 1827"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要						名称	形状寸法	単位	数量	摘要						③風向・風速整理 30日当り（720回） <table border="1" data-bbox="1587 1606 2368 1680"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> 注) 整理にパソコン等を使用し、本歩掛により難しい場合は、別途決定する。 ④風向・風速年間整理 12ヶ月当り <table border="1" data-bbox="1587 1753 2368 1827"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要						名称	形状寸法	単位	数量	摘要						番号の修正
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							

令和2年度 港湾請負工事積算基準 新旧対比表

掲載頁	現行（旧：平成31年度）	改定（新：令和2年度）	コメント																				
第3編 土質調査業務 P3-1-1 番号29	<p>1-1 適用範囲 この積算基準は、港湾工事における土質調査を実施する場合に適用する。</p> <p>1-2 積算価格の構成</p> <p>注) <u>作業船の回航等を含む場合の構成</u></p>	<p>1-1 適用範囲 この積算基準は、港湾工事における土質調査を実施する場合に適用する。</p> <p>1-2 積算価格の構成</p> <p>注) <u>積算価格の構成は土質調査を単独で積算する場合であり、作業船に回航・えい航が必要な場合は、工事費の積算(間接工事費+共通仮設費(積上))にて計上し、合併積算とする。</u></p>	<p>分かりやすい文に変更</p>																				
第3編 土質調査業務 P3-1-22 番号30	<p>3-8-2 業務成果品 報告書の電子納品および印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は3部迄、電子納品は正副合わせて2枚とし、これにより難しい場合は別途見積等により考慮する。</p> <p>業務成果品費=直接調査費(業務成果品費除く)×{1.2%+(印刷製本部数×0.3%)}</p> <p>注) 1. 「国土地盤情報データベース検定費」は直接調査費に含めない。 2. 業務成果品費は、有効数字上位2桁、以下切り捨てとし、最高20万円を限度とする。</p> <p>(2) 代価表</p> <p>業務成果品費 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="409 1703 1323 1780"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務成果品費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	業務成果品費		式	1		<p>3-8-2 業務成果品 報告書の電子納品および印刷・製本に要する費用は、下記の式により算出する。 ただし、印刷・製本部数は3部迄、電子納品は正副合わせて2枚とし、これにより難しい場合は別途見積等により考慮する。</p> <p>業務成果品費=直接調査費(業務成果品費除く)×{1.2%+(印刷製本部数×0.3%)}</p> <p>注) 1. 「国土地盤情報データベース検定費」は直接調査費に含めない。 2. 業務成果品費は、有効数字上位2桁、以下切り捨てとし、最高20万円を限度とする。</p> <p>(1) 代価表</p> <p>業務成果品費 1式当り</p> <table border="1" data-bbox="1596 1703 2510 1780"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務成果品費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	業務成果品費		式	1		<p>番号の修正</p>
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
業務成果品費		式	1																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																			
業務成果品費		式	1																				